

Kyorin 

てんじ じょくりょうほう
点耳・耳浴療法の
おはなし



監修

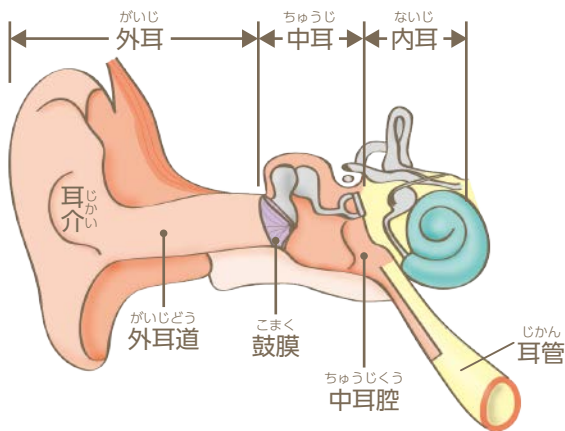
伊藤 真人 先生

(自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児耳鼻咽喉科 教授)

キョーリン製薬

耳の構造

耳は、外耳、中耳、内耳の3つの部分からできていて、耳の穴から鼓膜までを外耳道、鼓膜の奥の空洞を中耳腔といいます。



点耳・耳浴療法とは？

「点耳・耳浴療法」は外耳道から中耳腔で起こる病気に対して、耳の中に直接薬を投与（点耳）し、点耳指示の場合2～3分、耳浴の場合約10分、そのままの姿勢を維持する療法です。

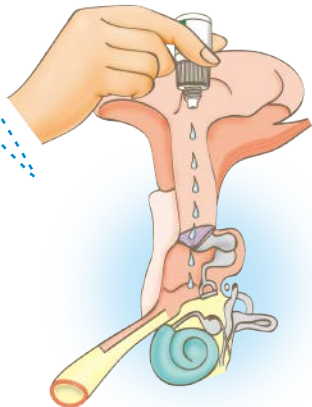


点耳・耳浴療法のメリットは？

「点耳・耳浴療法」にはどのようなメリットがあるのでしょうか。

「点耳・耳浴療法」は錠剤やカプセル剤などの内服薬や注射薬のように全身に薬を届ける投与方法に比べ、局所投与なので、次のようなメリットが考えられます。

- ① 薬が患部に、直接届きます。
- ② 薬が患部に、直接作用します。
- ③ 薬は患部を中心に作用するので、炎症部位以外への影響が少なくて済みます。



点耳・耳浴療法の対象となる耳の

外耳炎

外耳炎は、耳掃除や爪で外耳をひっかくことで皮膚に傷がつき、そこから細菌に感染し炎症を起こす病気です。

プールや入浴の際に耳に水が入り起こることもあります。

耳のかゆみや痛み、耳だれが主な症状で、耳が詰まった感じ、耳鳴り、難聴になることもあります。



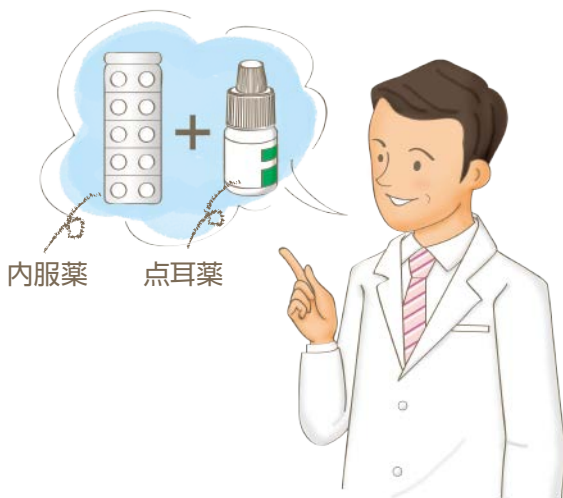
中耳炎

急性中耳炎は、細菌やウイルスが鼓膜の奥に入ることによって起こります。風邪をひいたときに鼻や喉の炎症につづいて起こり、耳の痛み、発熱、耳が詰まった感じがします。耳鳴り、難聴を伴うこともあります。急性中耳炎を繰り返し起こしたり、長引くと、耳だれがつついたり、難聴がひどくなり慢性中耳炎に移行することもあります。



細菌感染症の点耳・耳浴療法に使われる薬

外耳炎や中耳炎は、細菌感染により起こることが多い炎症性の病気なので、抗菌薬を含む点耳薬が使われます。点耳薬は、細菌感染を起こしている部位に直接届き、細菌の繁殖を抑えます。内服の抗菌薬だけでは不十分な場合に使用されます。



点耳薬の使い方

注意

- 1回の点耳薬の滴下回数、1日の点耳回数、投与期間は医師の指示に従ってください。
- 薬の容器の先端が直接、耳や皮膚に触れないようにしてください。

1 準備



- ▶ 綿棒などで外耳道をきれいにしてください。
- ▶ 点耳薬は体温程度に温めてからご使用ください。

2 点耳



- ▶ 悪いほうの耳を上にして横向きに寝て、外耳道入口が水平になるよう頭の位置を決めます。
- ▶ 医師の指示した量の点耳薬を滴下してください。

3 点耳後



- ▶ 耳たぶを1～2回指で引き上げてゆするようにすると、お薬が患部に到達しやすくなります。
- ▶ 点耳後は点耳指示の場合2～3分、耳浴の場合約10分、そのままの姿勢でじっとしててください。

4 耳浴後



- ▶ 清潔なガーゼかティッシュペーパー等を耳にあてて起き上がります。
- ▶ 耳の外に流れ出た点耳薬を拭き取ってください。